

## 男性は女性をリードすべき？ 変化する男女観

「恋愛・結婚調査2017」より

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都中央区 代表取締役社長 山口 文洋）が運営する調査・研究組織のブライダル総研より、「恋愛・結婚調査2017」に関する分析をお伝えします。

### 男女の役割意識が変化しつつある

「恋愛・結婚調査2017」にて、20代～40代の未婚者に対し、「男女観」について分析しました。

【男女に対する考え方（20代～40代未婚者／「そう思う」「非常にそう思う」計）】

- ・男は強くあるべきだと思う : 39.1%（14年 44.4% 5.3pt減）
- ・男は女をリードするものだと思う : 32.5%（14年 37.5% 5.0pt減）
- ・男は女を守るものだと思う : 43.7%（14年 48.4% 4.6pt減）

男女に対する考え方についてみると、男性は「強くあるべき」「リードするもの」「守るもの」など、従来考えられていた「男女のあるべき役割」に関する項目が減少していることが分かりました。

### 20代は他の年代よりも減少幅が大きい

さらに、男女に対する考え方を年代別でも分析しました。

【男女に対する考え方（20代～40代未婚者／「そう思う」「非常にそう思う」計）】

- ・男は強くあるべきだと思う : 20代 39.3%（14年 47.3% 8.0pt減）  
30代 39.8%（14年 42.1% 2.2pt減）  
40代 37.6%（14年 39.4% 1.8pt減）
- ・男は女をリードするものだと思う : 20代 36.6%（14年 41.4% 4.8pt減）  
30代 29.6%（14年 35.1% 5.4pt減）  
40代 27.0%（14年 30.2% 3.2pt減）
- ・男は女を守るものだと思う : 20代 44.2%（14年 50.4% 6.1pt減）  
30代 43.5%（14年 47.9% 4.4pt減）  
40代 42.8%（14年 43.0% 0.2pt減）

男女に対する考え方を年代別にみると、20代は30代・40代と比較し、減少幅が大きく、若年層の意識変化が特に大きいことがみてとれます。

「男性はこうであるべき」「女性はこうであるべき」といった意識が希薄化し、従来型の交際形態が変化しつつあるようです。

◆出版・印刷物ヘデータを転載する際には、「恋愛・結婚調査2017（リクルートブライダル総研調べ）」と明記いただきますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

ブライダル総研

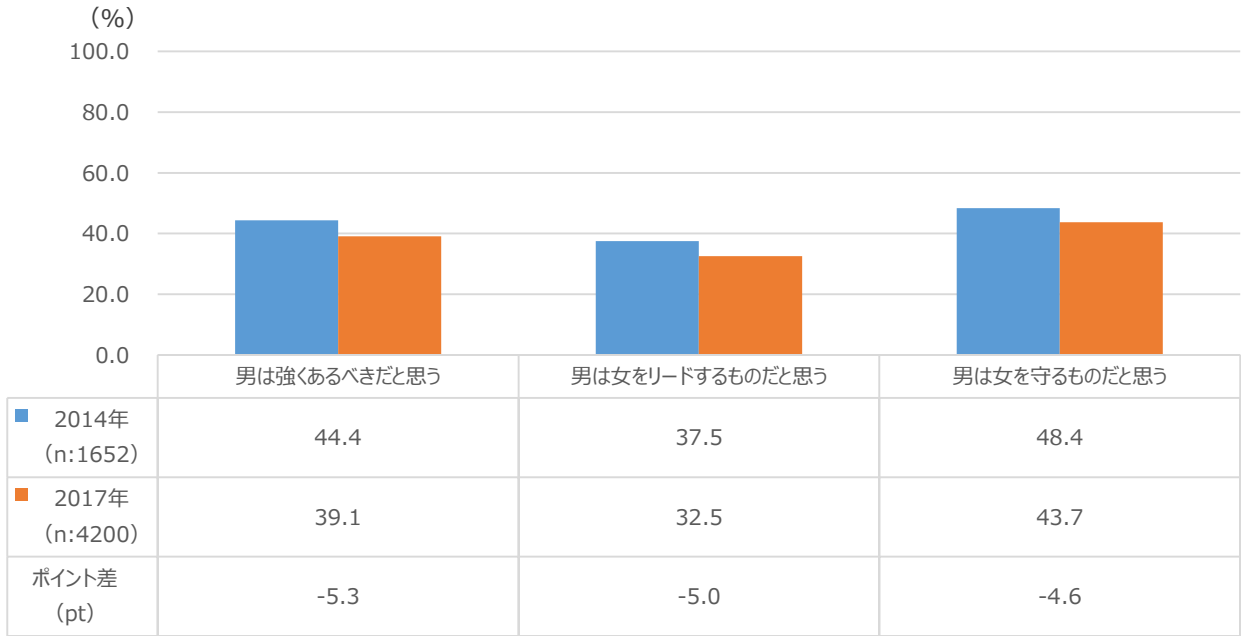
本調査の実査を担当する「ブライダル総研」は、を企画運営する株式会社リクルートマーケティングパートナーズにおける調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー  
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

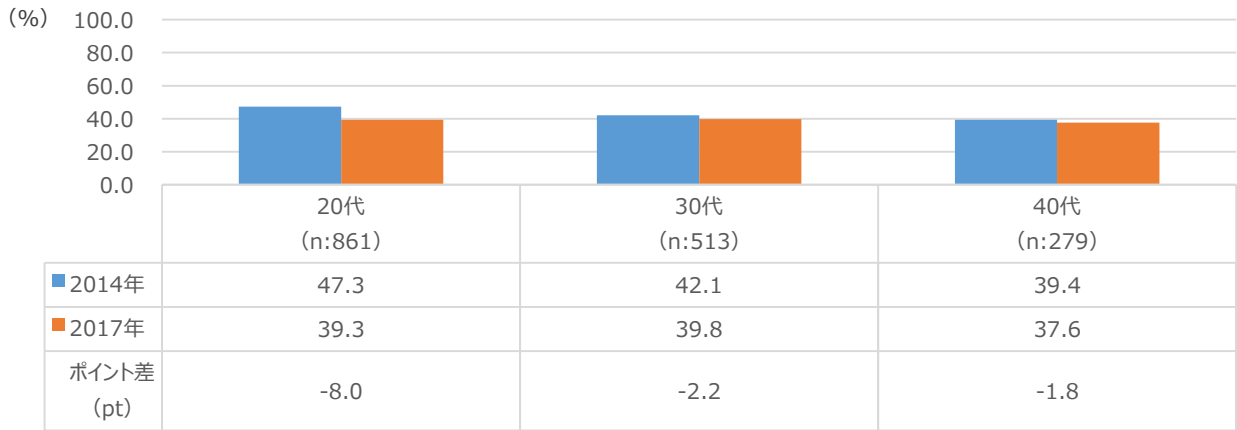
# ブライダル総研 Research News

【男女に対する考え方（20代～40代未婚者／「そう思う」「非常にそう思う」計）】

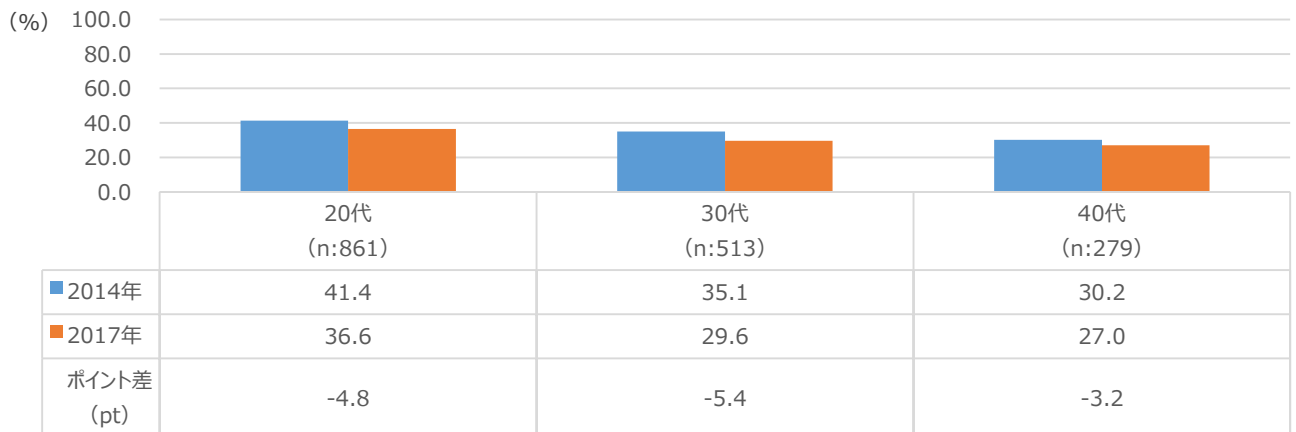


【男女に対する考え方（20代～40代未婚者／「そう思う」「非常にそう思う」計）】

<男は強くあるべきだと思う>



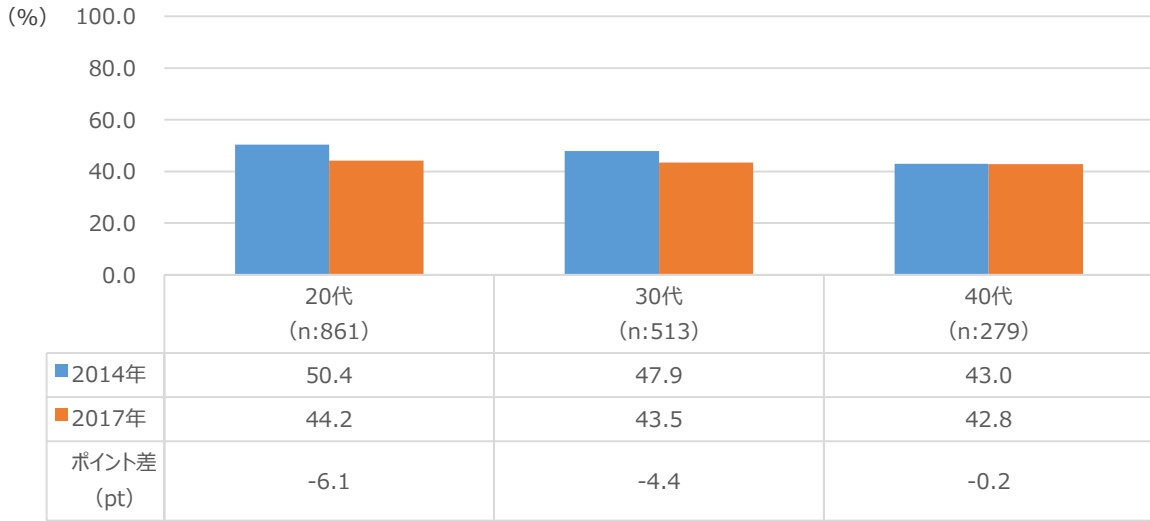
<男は女をリードするものだと思う>



# ブライダル総研 Research News

【男女に対する考え方（20代～40代未婚者／「そう思う」「非常にそう思う」計）】

＜男は女を守るものだと思う＞



## 【調査概要】

調査方法：インターネットによるアンケート調査

調査期間：2017年9月22日（金）～2017年9月24日（日）

調査対象：全国の20～49歳の男女（結婚経験のない独身者のみ）

サンプル数：4,200人（未婚者の性・年代別の人口構成に合わせウェイトバックを実施）

※人口構成比：平成27年総務省統計局国勢調査より